

麻しんワクチンの予防接種を受けられる方へ

麻しんの予防接種を実施するに当たって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、予診票にできるだけ詳しくご記入ください。ご高齢もしくは未成年の方などでご自身での記入が難しい方が接種を希望されている場合には、健康状態をよく把握しているご家族など代理人の方がご記入ください。なお、原則として接種される方の接種希望確認ができない場合は接種できませんので予めご了承ください。

【ワクチンの効果と副反応】

麻しんワクチンの免疫獲得率は高く、ワクチン接種を受けた人の95%以上の人が免疫を獲得できるといわれています。しかし、いつまで免疫が持続するかについては、獲得した免疫の状況やその後の周りでの流行の程度によって異なります。

副反応としては、ワクチンの接種直後から翌日発疹、じんましん、紅斑、かゆみ、発熱などがみられることがあります。全身症状として、接種5～14日後に1～3日間のだるさ、不機嫌、発熱、発疹などがみられることがあります。通常1～3日で消失します。また、局所症状として接種部位に発赤、腫脹、硬結、疼痛などがみられることがあります。非常にまれですが、ショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管浮腫など）、血小板減少性紫斑病、急性散在性脳脊髄炎（発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害など）、脳炎・脳症、発熱を伴うけいれんがみられることがあります。

【予防接種を受けることができない人】

- ①明らかに発熱のある人（37.5℃以上）
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③過去に麻しんワクチンに含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある人
- ④妊娠している方
- ⑤免疫不全などの診断を受けた人または免疫抑制を起こす治療を受けている人
- ⑥その他、医師が予防接種を受けることが不相当と判断した人

【予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなくてはならない人】

- ①心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの基礎疾患がある人
- ②発育が遅く、医師、保健師の指導を継続して受けている人
- ③カゼのひきはじめと思われる人
- ④前回の予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う異常がみられた人
- ⑤薬の投与または食事で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある人
- ⑥今までにけいれんを起こしたことがある人
- ⑦過去に免疫不全と診断されたことがある人および近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- ⑧麻しんワクチンに含まれる成分でアレルギーを起こすおそれのある人
- ⑨家族、遊び友達、クラスメートのあいだに麻しん（はしか）、風しん、おたふくかぜ、水痘（みずぼうそう）などの病気が流行しているときで、まだその病気にかかったことがない人
- ⑩妊娠の可能性のある人

【予防接種を受けた後の注意】

- ①接種後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医療機関にいるなどして様子を観察し、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- ②接種後24時間は、副反応の出現に注意しましょう。
- ③接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこするようなことはやめましょう。
- ④接種当日はいつも通りの生活をしましょう。激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

⑤高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。